

佐布里小だより

(学校教育診断アンケート結果)

平成31年3月5日

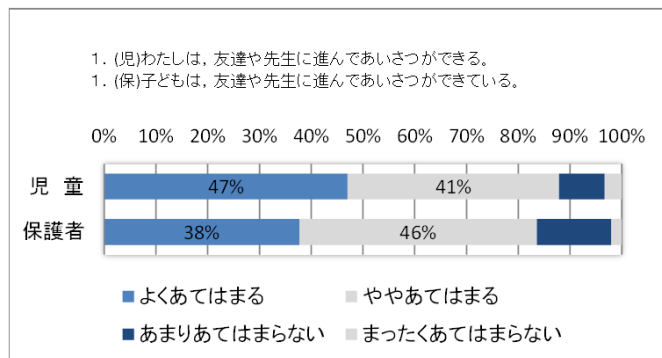
・2学期末、学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。この結果をもとに、学校ではさまざまな見直しを進め、次年度に向けての改善策を検討していきます。

・以下の考察では、「よく当てはまる」「やや当てはまる」の回答の合計を肯定的な回答の比率と考えました。

【基本的な生活について】

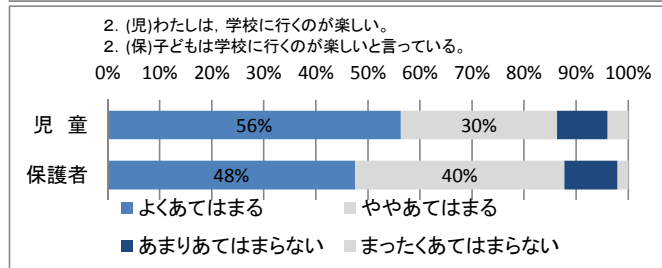
1. 友達や先生に進んであいさつができる。

	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
児童	47%	41%	9%	3%
保護者	38%	46%	14%	2%



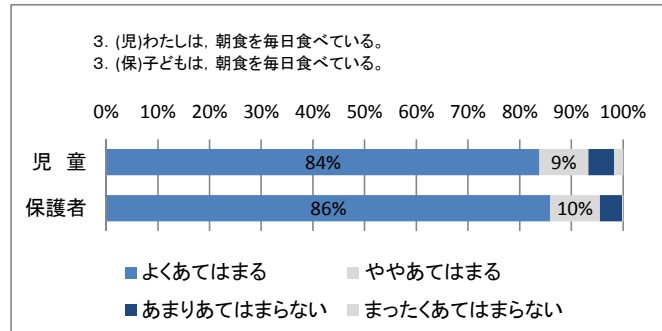
2. 学校に行くのが楽しい。

	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
児童	56%	30%	10%	4%
保護者	48%	40%	10%	2%



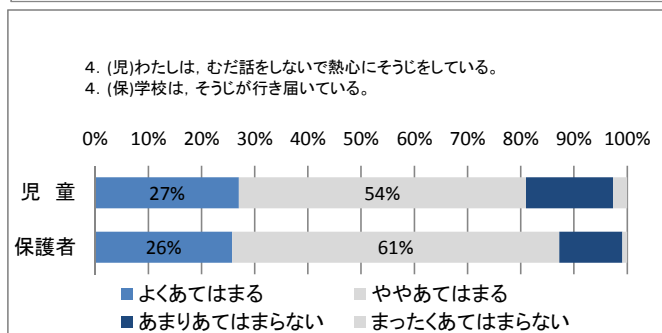
3. 朝食を毎日食べている。

	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
児童	84%	9%	5%	2%
保護者	86%	10%	4%	0%



4. むだ話をしないで熱心にそうじをしている。

	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
児童	27%	54%	16%	3%
保護者	26%	61%	12%	1%



1「あいさつ」については、あいさつの意義や仕方を学ぶ研修会を実施したり、地域の方々とあいさつ運動を実施したりすることで、その大切さが分かり、意識付けをすることができてきました。さらに継続して指導することで、日々の生活にあいさつを習慣化していくことが大切であると考えています。

2「わたしは、学校に行くのが楽しい」については、すべての児童が「楽しい」と答えられるように努めています。分かる・できる・楽しい授業づくり、個に居場所がある学級・学校づくり、異学年交流活動など、自己肯定感をもてるような配慮や取組をしていきます。

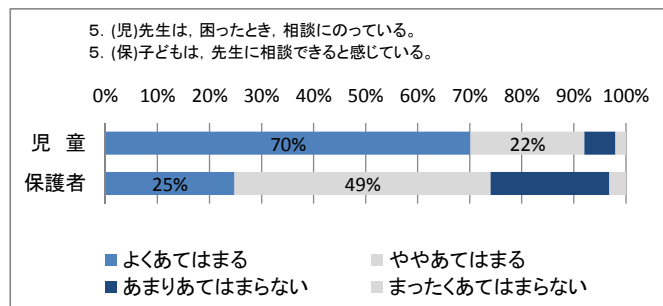
3「朝食」の問いに、児童93%・保護者96%が肯定的な回答をしています。「毎日朝食をとること」は、健康的な生活の基本ですので、保護者の皆様のご協力をいただき、100%にしていきたいと考えています。

4「もくもく掃除」については取組から3年目となり、もくもく掃除の意義が理解できたため、熱心に取り組む児童が増えてきています。「もくもく掃除」では、粘り強い心、親切な心、発見する心が育つと言われています。教職員もいっしょにもくもく掃除に取り組みながら、児童が生きていく上で大切な心を磨き、育てたいと考えています。

【生徒指導について】

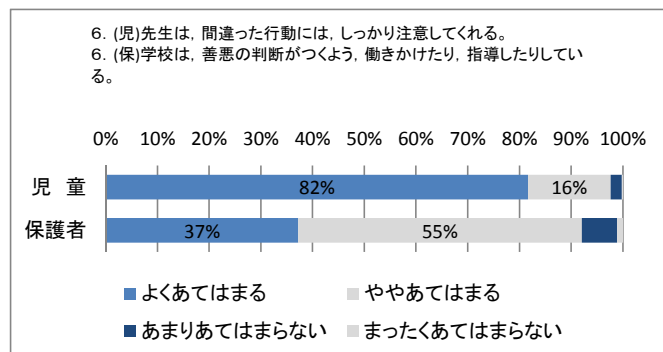
5. 先生は、困ったとき、相談にのっている。

	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
児童	70%	22%	6%	2%
保護者	25%	49%	23%	3%



6. 先生は、間違った行動には、しっかりと注意・指導している。

	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
児童	82%	16%	2%	0%
保護者	37%	55%	7%	1%

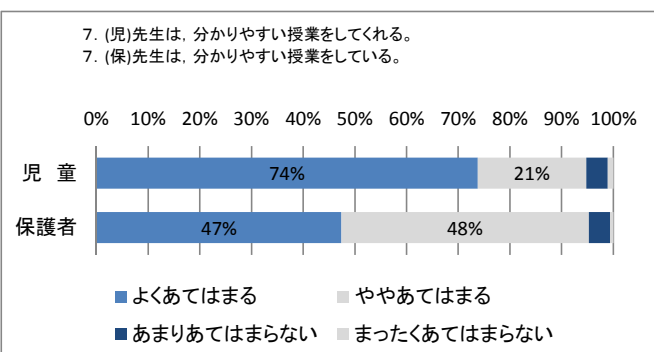


6「生活指導」に関する問いでは、児童も保護者も高い回答となっています。しかし、5「相談」に関する問いでは、児童は92%が肯定的な回答をしていますが、保護者は74%にとどまっており、教員への大きな期待がうかがえます。いつでも誰でも相談に乗れる体制をつくっていますが、声の出しにくい児童であっても、また保護者の方々からも相談しやすい雰囲気づくりにいっそう努めていきます。

【学習指導について】

7. 先生は、分かりやすい授業をしている。

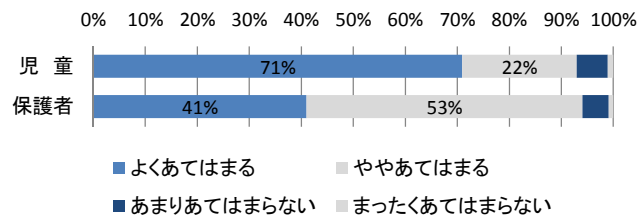
	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
児童	74%	21%	4%	1%
保護者	47%	48%	4%	1%



8. 先生は、できたことや努力を認め、ほめている。

	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
児童	71%	22%	6%	1%
保護者	41%	53%	5%	1%

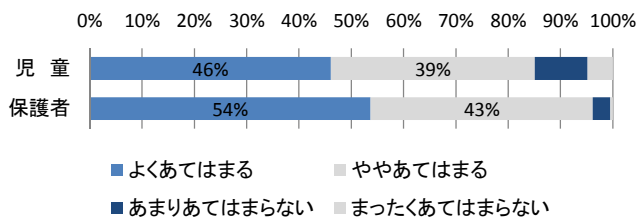
8. (児)先生は、できたことや努力を認め、ほめてくれる。
8. (保)学校は、教科等の評価を適正に行い、児童の伸びや努力したことを認めている。



9. 郷土愛、関わる力、やり抜く力、解決する力、えがく力を意識して学習している。

	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
児童	46%	39%	10%	5%
保護者	54%	43%	3%	0%

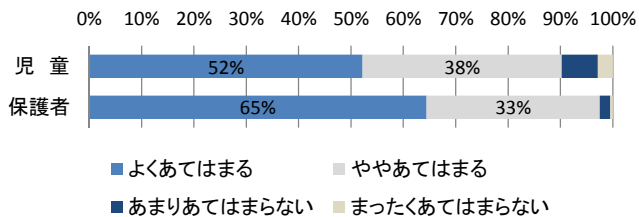
9. (児)郷土愛、関わる力、やり抜く力、解決する力、えがく力を意識して学習している。
9. (保)学校は、郷土愛、関わる力、やり抜く力、解決する力、えがく力を意識して授業づくりをしている。



10. 宿題を必ず提出している。

	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
児童	52%	38%	7%	3%
保護者	65%	33%	2%	0%

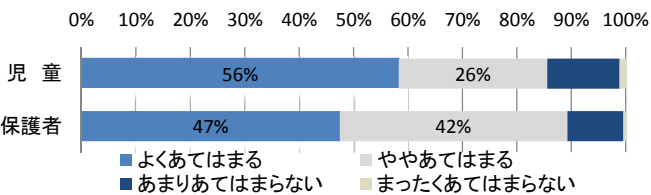
10. (児)わたしは、宿題が出されたら必ず提出している。
10. (保)学校は、宿題や課題の指導を継続的にしている。



11. 学校や家庭で読書をしている。

	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
児童	56%	26%	13%	5%
保護者	47%	42%	10%	1%

11. (児)わたしは、学校や家庭で読書をしている。
11. (保)学校は、読書の習慣が育つように、力を入れている。



7「分かりやすい授業」8「適正な評価」に関する問いでは、児童、保護者ともにすべて90%以上の肯定的な回答をしています。小学校では2020年度から新学習指導要領が全面実施となります。新学習指導要領が目指す「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善や学習評価の充実に、全教員一丸となって取り組んでいきます。

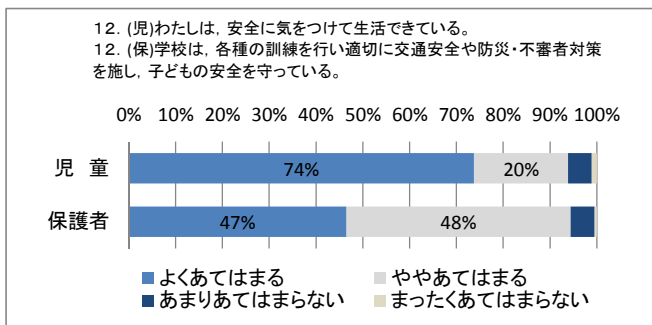
9「郷土愛、関わる力、やり抜く力、解決する力、えがく力」の育成については、今年度から新たに加え、重点的に取り組んでいます。外部講師を招聘して研修会を実施し、この「5つの力」を身に付けさせる授業づくりについて学びました。この力を高めるには、児童が常に意識して学習に取り組むことが必要不可欠です。どのような力を高めるのか、どのくらい高められたのか、授業の始まりには「めあて」を明確にもたせ、授業の終わりには「振り返り」を書かせることで、意識化を図りたいと考えています。

10「宿題」11「読書」に関する問いでは、児童・保護者ともに高い回答となっており、特に児童は増加しています。多くの児童は、学習や読書の大切さ・楽しさが分かり、学習習慣や読書習慣を身に付けることができます。ただ個人差があります。さらに、個に応じた指導・支援を充実させ、意欲的に取り組むことができるようにしていきたいと考えています。特に読書については、読み聞かせボランティア「梅っ子広場」の皆さんや中央図書館の方と連携し、本が読みたくなる「環境」「しかけ」をさらに工夫し、読書好きな児童を育てたいと思います。

【安全意識、保護者・地域連携について】

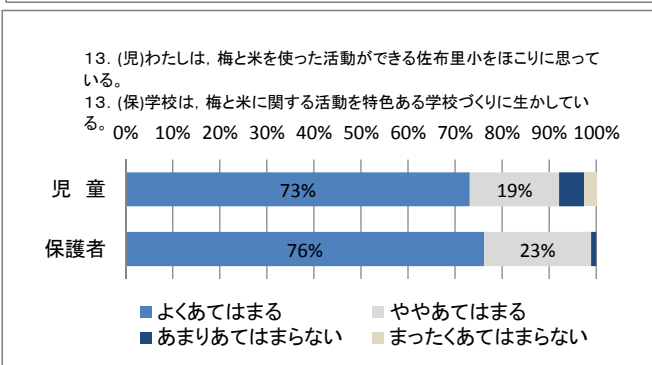
1 2. 安全に気をつけて生活できている。

	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
児童	74%	20%	5%	1%
保護者	47%	48%	5%	0%



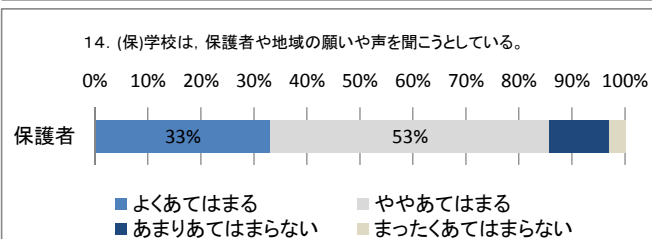
1 3. 梅と米を使った活動ができる佐布里小をほこりに思っている。

	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
児童	73%	19%	5%	3%
保護者	76%	23%	1%	0%



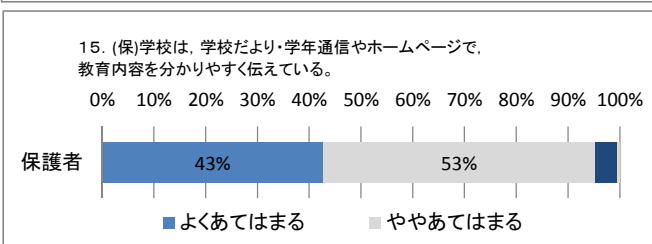
1 4. 保護者や地域の願いや声を聞こうとしている。

	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
保護者	33%	53%	11%	3%



1 5. 学校だより・学年通信やホームページで、教育内容を分かりやすく伝えている。

	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
保護者	43%	53%	4%	0%



12「安全に気をつけて生活できている」については、予告なしの地震避難訓練・引き渡し訓練や交通安全などに関する指導を継続して行うことで、「自分の命は自分で守る」という意識がもてるようになってきていると考えています。今後も継続して取り組みます。

13の「梅と米を使った活動」に関する問いでは、92%の児童が「佐布里小をほこりに思っている」と答えており、24%増加しています。アンケートの内容を、「他の学校に自慢できる」から「ほこりに思っている」と変更したことで大きく増加したと考えられますが、郷土愛が育ってきているといえます。地域の方々と連携して活動できているからこそと感謝しています。

14「願い」15「学校公開」については、これまで以上にホームページや学校だより、学校公開日等の機会を通じて、学校を積極的に公開していくとともに、地域や保護者の皆様の声を聞き、さらに連携を深めたいと考えています。